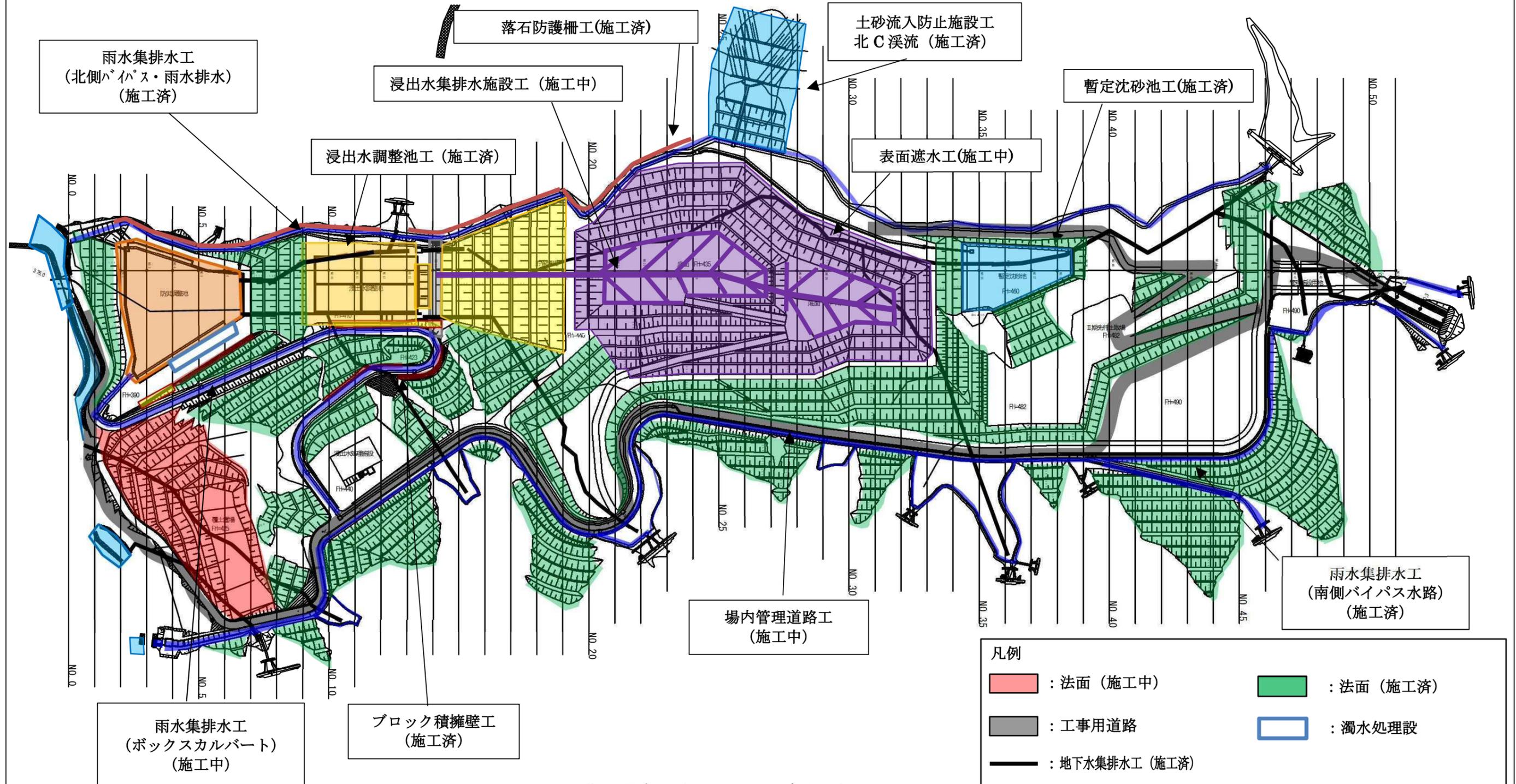


恵下埋立地（仮称）建設工事の施工状況について

作業状況

工事着手から現在まで以下の作業を実施しています。（令和4年2月現在）

作業内容：仮設工（工事用道路工、濁水処理施設等）、切盛法面工、地下水集排水工、貯留堰堤工、浸出水調整池工、造成工、雨水集排水工、放流水路改修工、防災調整池工、土砂流入防止施設工、モニタリングピット工、鉛直遮水工、浸出水処理施設擁壁工、浸出水集排水施設工、場所打L型擁壁工、ブロック積擁壁工、表面遮水工、落石防護柵工、法面工、場内管理道路工、暫定沈砂池工



工期：平成28年3月1日～令和4年8月31日

作業状況（令和4年2月現在）

場内管理道路工

① 搬入路



土砂流入防止施設工

② 北C溪流



落石防護柵工

③ リングネット全景



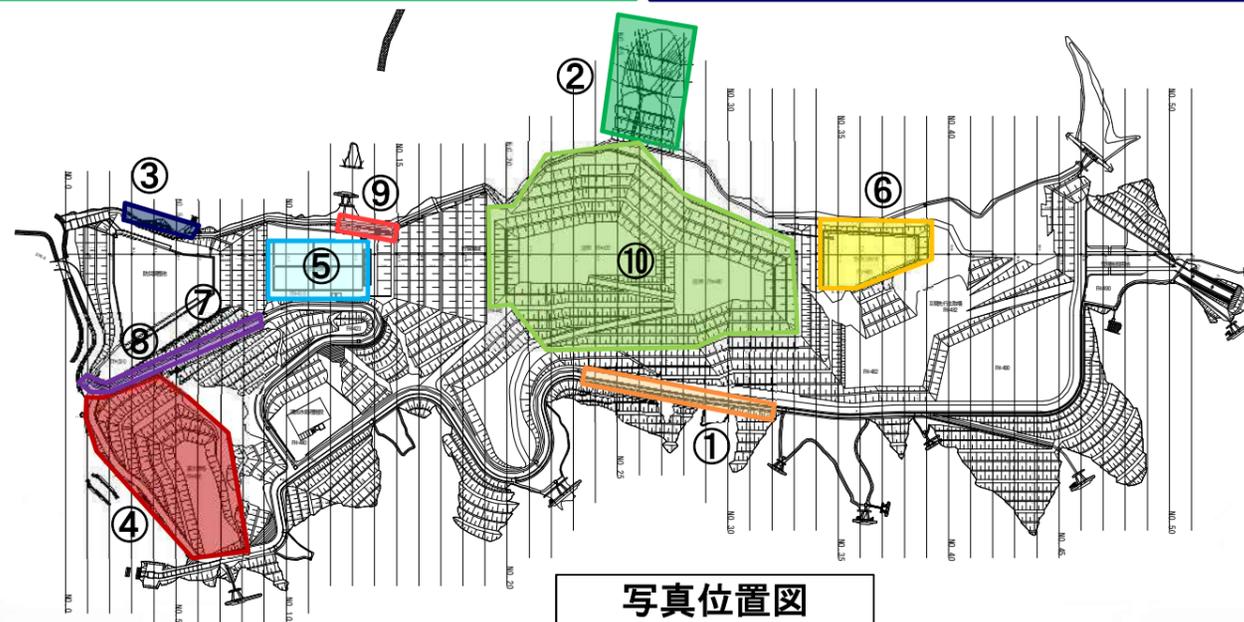
造成工

④ 覆土置場



浸出水調整池工

⑤ 浸出水調整池



防災施設工

⑥ 暫定沈砂池



雨水集排水工

⑦ BOXカルバート据付状況



⑧ BOXカルバート全景



擁壁工

⑨ ブロック積擁壁



表面遮水工

⑩ 遮水シート



恵下埋立地（仮称）浸出水処理施設等建設工事の進捗状況について

1 工事名：恵下埋立地（仮称）浸出水処理施設等建設工事

2 工期：平成29年7月4日～令和4年7月29日

3 請負業者：㈱フソウ 中国支店

4 工事内容

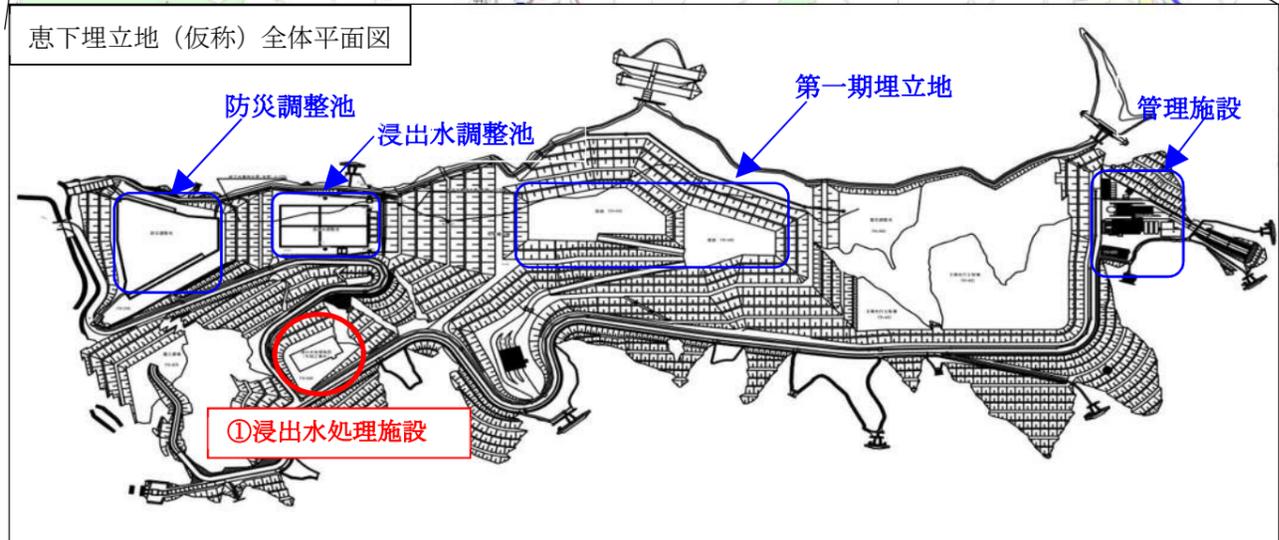
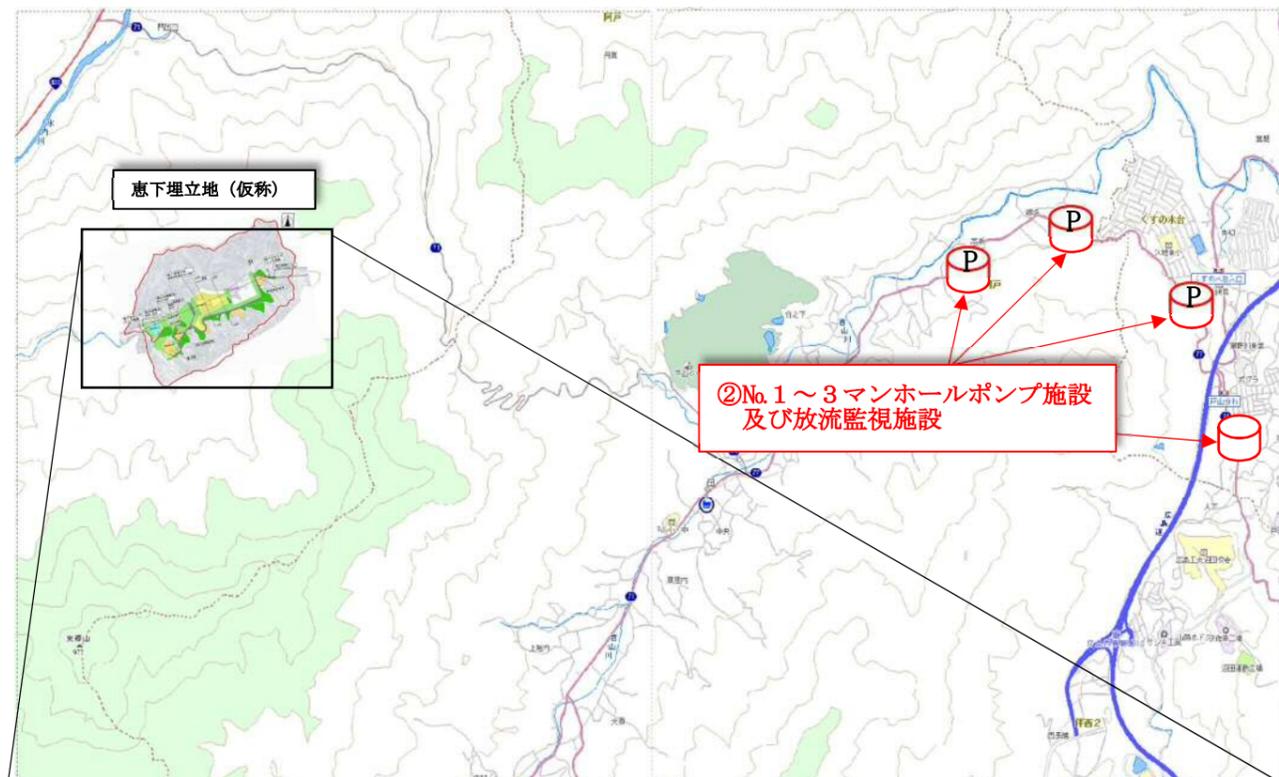
(1) 浸出水処理施設

建築工事：コンクリート躯体工事終了、内装工事・仕上工事（施工中）

設備工事：建築機械・電気設備工事（施工中）、プラント工事（施工中）

(2) マンホールポンプ施設

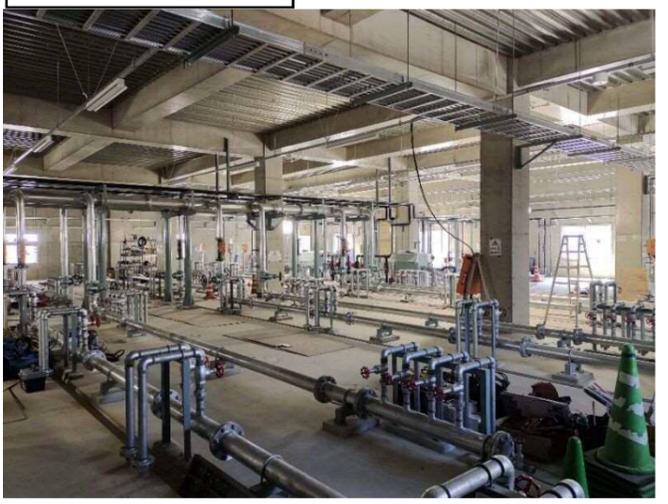
機器据付・配線工事終了



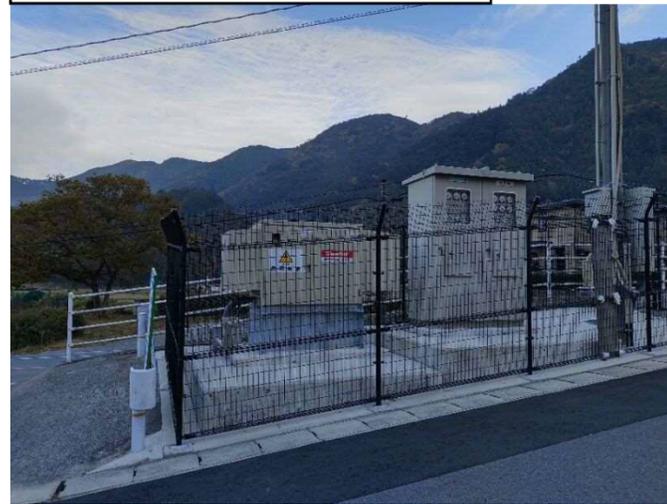
① 浸出水処理施設全景



① 処理施設3階



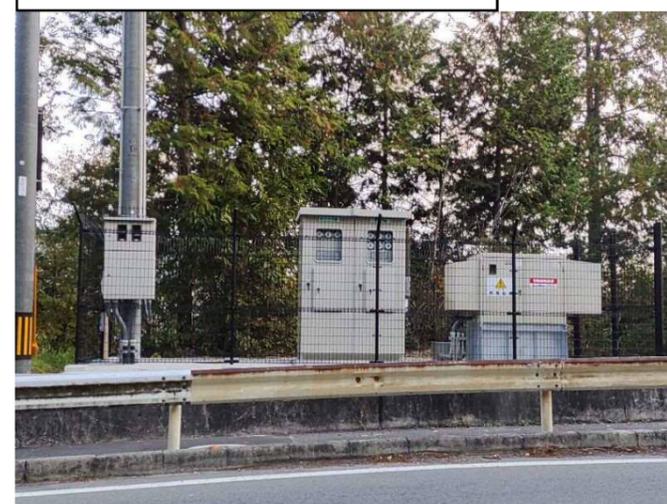
② No1 マンホールポンプ施設



② No2 マンホールポンプ施設



② No3 マンホールポンプ施設



② 放流監視施設



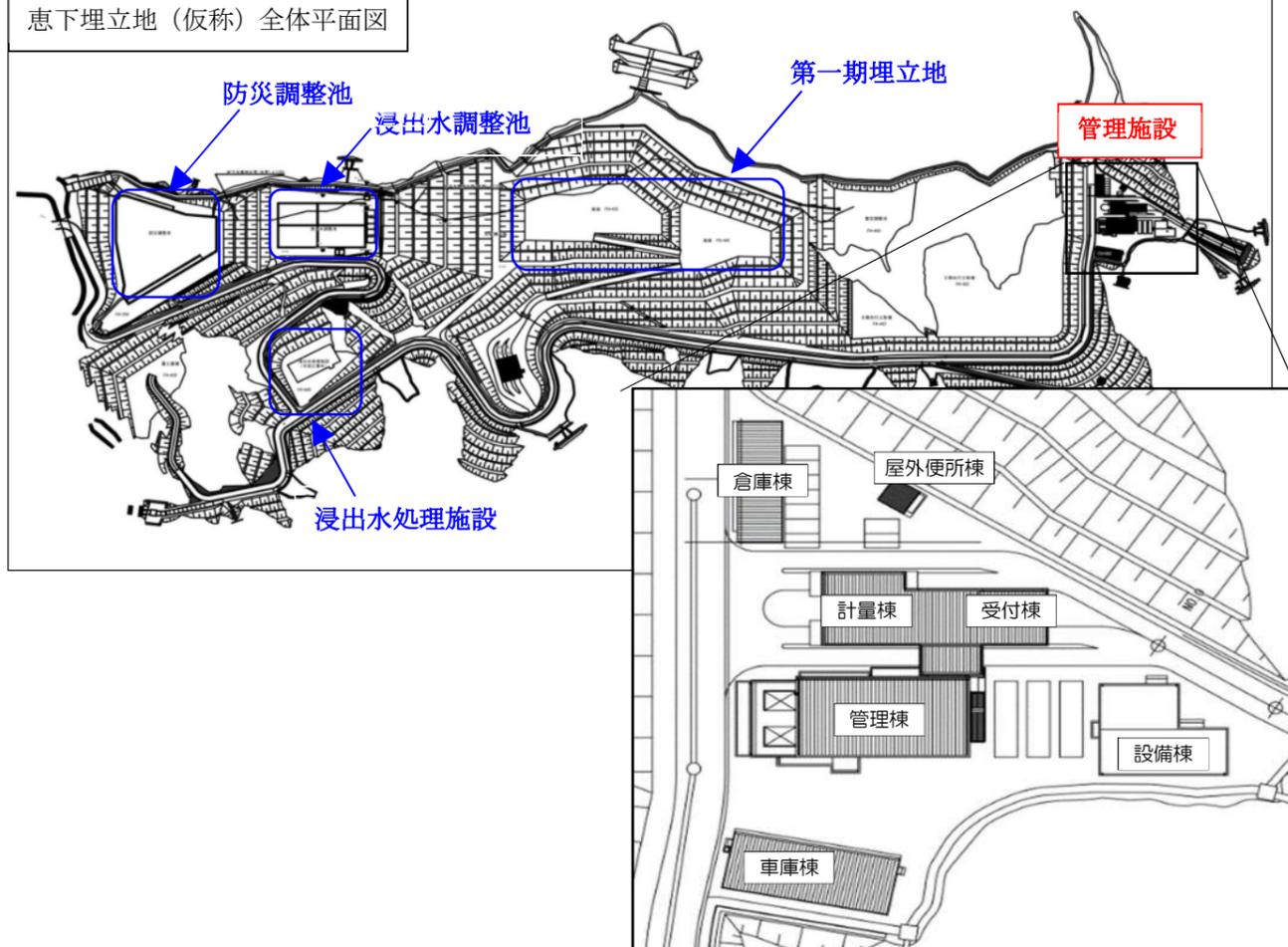
恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築工事の進捗状況について

1 概要

埋立地を管理するために必要となる管理施設（管理棟、設備棟、受付棟・計量棟、車庫棟、倉庫棟、屋外便所棟）の建設を進めています。

- (1) 工事名：恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築工事
 工期：令和2年8月11日～令和4年3月10日
 請負業者：(株)新枝建設
 作業内容：管理棟（完成）、設備棟（完成）、受付棟・計量棟（完成）、車庫棟（完成）
 倉庫棟（完成）、屋外便所棟（完成）
- (2) 工事名：恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築電気設備工事
 工期：令和2年8月4日～令和4年4月28日
 請負業者：(株)高野電気商会
 作業内容：建築工事に伴う電気設備工事（施工中）
- (3) 工事名：恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築衛生・冷暖房設備工事
 工期：令和2年8月19日～令和4年4月28日
 請負業者：(株)高原設備工務店
 作業内容：建築工事に伴う衛生・冷暖房設備工事（施工中）
- (4) 工事名：恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築自家発電設備工事
 工期：令和3年2月22日～令和4年3月10日
 請負業者：(株)高野電気商会
 工事概要：埋立地の自家発電設備及びマンホールポンプ設備の自家発電設備設置工事（完成）

恵下埋立地（仮称）全体平面図



管理棟その他全景



恵下埋立地(仮称)南側斜面土砂流出防止工事について

【工事概要】

本工事は、恵下埋立地（仮称）の南側斜面からの土砂流入を防ぐ工事です。

埋立地の南側斜面に土石流等が発生した際、埋立地への土砂流入を防ぐために柔構造待受け工（インパクトバリア工法）を2箇所（3基）に設置します。

- ① 工 事 名：恵下埋立地（仮称）南側斜面土砂流出防止工事（3-1）
- ② 工 期：令和4年3月4日～令和4年11月19日（予定）
- ③ 受 注 者：株式会社田村建設

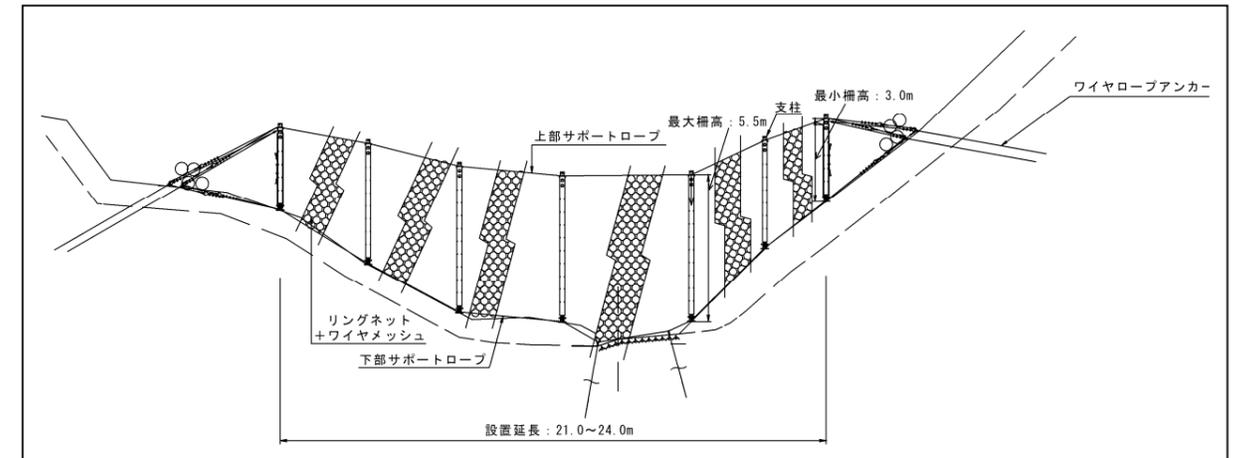
【位置図】



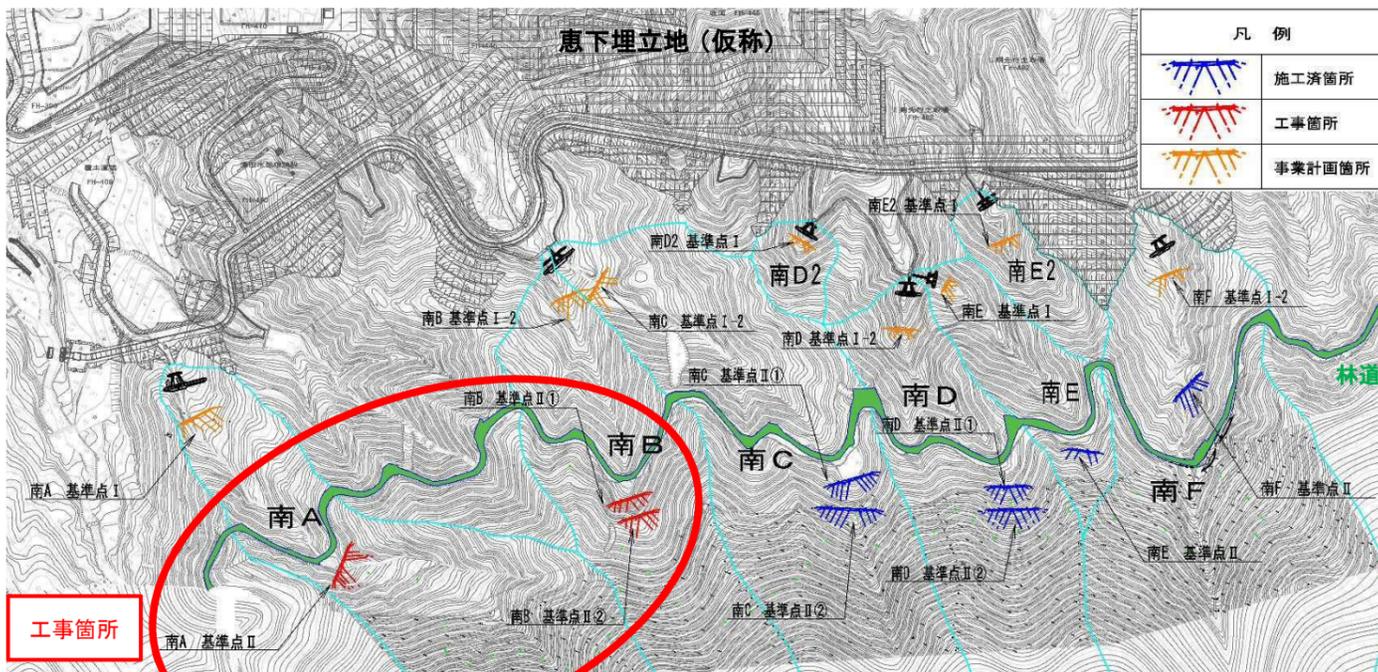
【インパクトバリア 令和3年度、設置状況（南D基準点Ⅱ）】



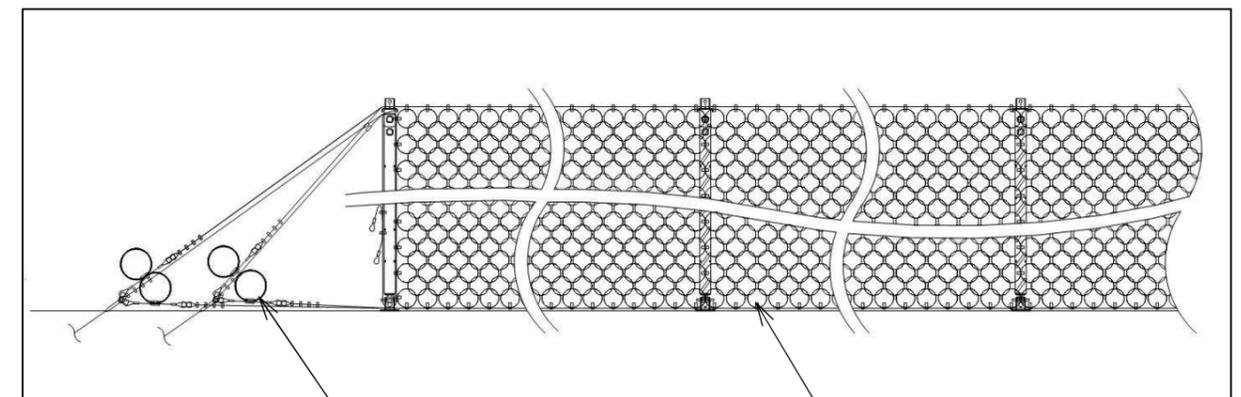
【展開図（南A基準点Ⅱ）】



【詳細箇所】



【詳細図（イメージ）】



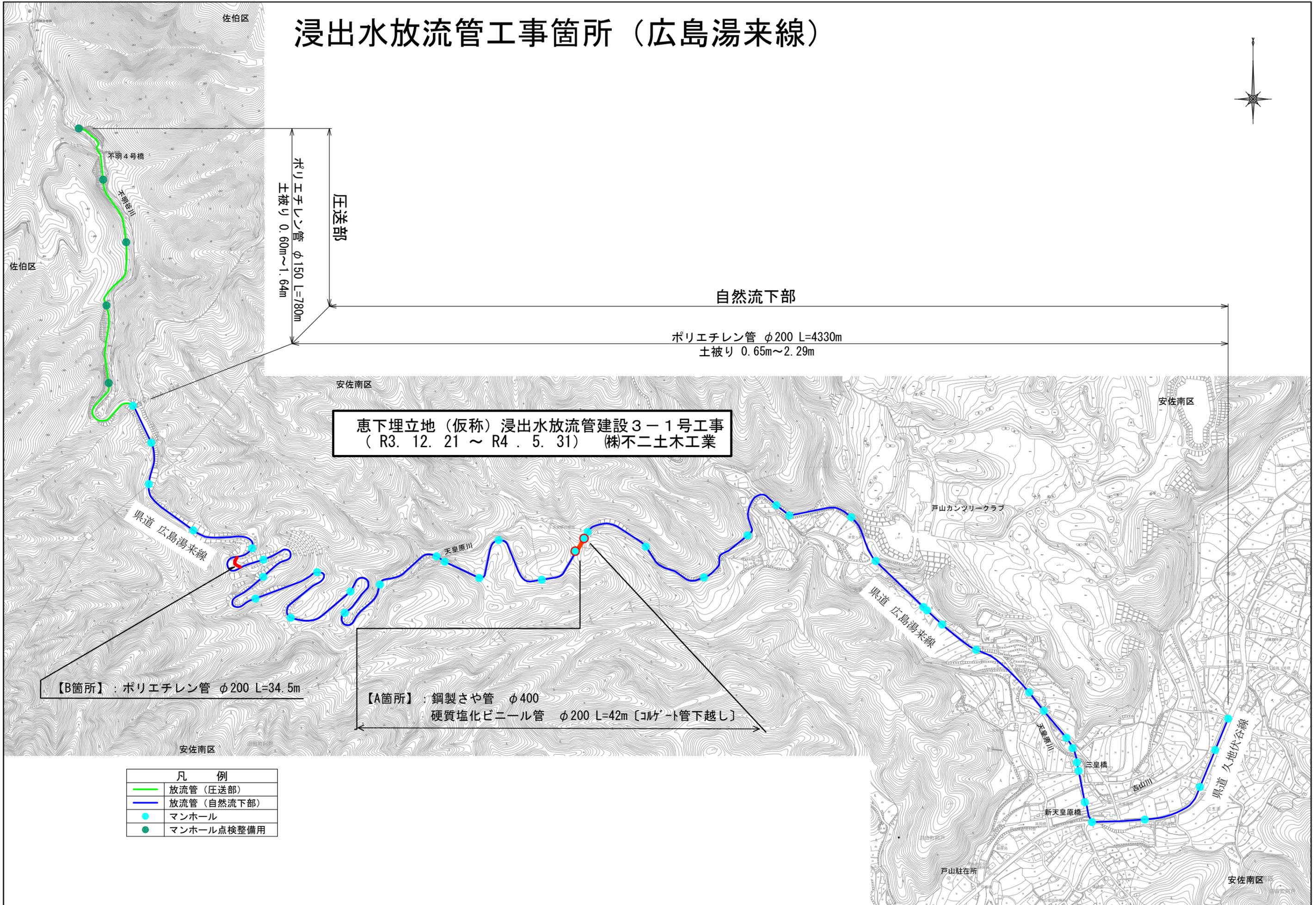
ブレーキリング

（土砂捕捉時、ワイヤーが引張られ、衝撃を緩和します。）

リングネット

（1リング毎に取り換えが可能です。）

浸出水放流管工事箇所（広島湯来線）



戸山地区の環境調査について（令和3年度調査結果）

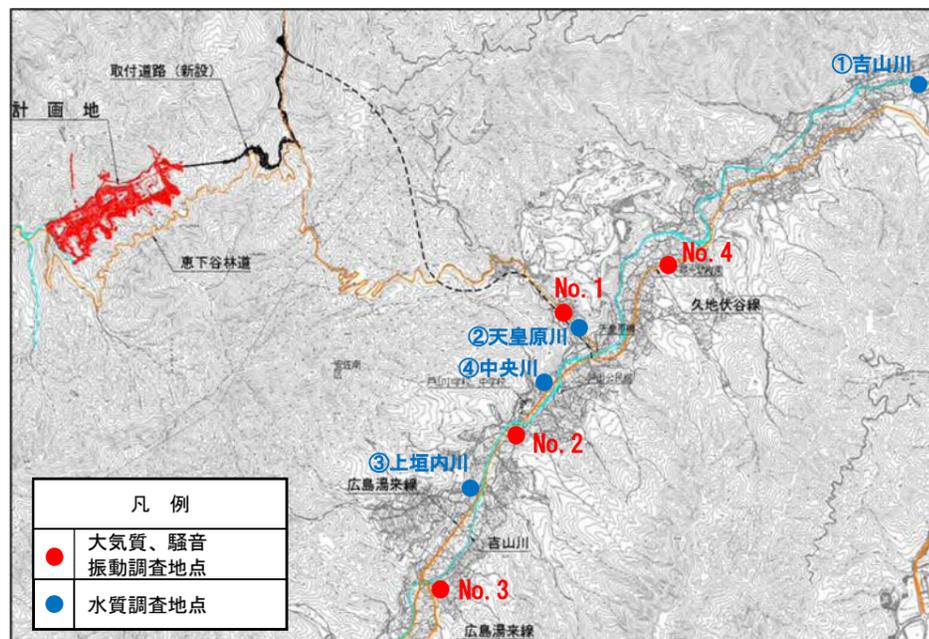
戸山地区の環境調査を、下表のとおり行いました。

水質調査結果で、大腸菌群数が基準値を超えましたが、その他の項目は基準値以下でした。

大気質及び騒音・振動調査の結果は、すべて基準値以下でした。

	調査項目	調査地点及び頻度
大気質	大気汚染に係る環境基準項目（5項目）	No. 1 1地点 7日間連続測定 1回/年
	非メタン炭化水素	
	微小粒子状物質（PM2.5）	
騒音	道路交通騒音	No. 1～No. 4 4地点 24時間連続測定 1回/年
振動	道路交通振動	
水質	生活環境項目（5項目）	吉山川、天皇原川 上垣内川、中央川 4地点 1回/年
	健康項目（27項目）	
	塩化物イオン	
	電気伝導率	
	ダイオキシン類	

調査地点図



【大気質調査結果】

調査地点		No. 1	環境基準
調査日		R4. 1. 22 ～1. 28	
二酸化硫黄 (SO ₂) (ppm)	日平均の最大値	0.001	0.04以下
	1時間値の最大値	0.001	0.1以下
一酸化炭素 (CO) (ppm)	日平均の最大値	0.4	10以下
	8時間平均値 の最大値	0.4	20以下
浮遊粒子状物質 (SPM) (mg/m ³)	日平均の最大値	0.020	0.10以下
	1時間値の最大値	0.029	0.20以下
二酸化窒素 (NO ₂) (ppm)	日平均の最大値	0.003	0.04～0.06以下
光化学オキシダント (Ox) (ppm)	昼間の1時間最大値 (5時～20時)	0.050	0.06以下
非メタン炭化水素 (NMHC) (ppmC)	3時間平均の最大値 (6時～9時)	0.08	0.20～0.31 (指針値)
微小粒子状物質 (PM2.5) (μg/m ³)	日平均の最大値	16	35以下

【騒音調査結果】

調査日時：令和3年12月20日12:00～12月21日12:00

時間区分	等価騒音レベル (L _{Aeq})				環境基準 (単位：dB)
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	
昼間 (6時～22時)	49	64	63	64	70
夜間 (22時～6時)	40	56	56	57	65

注) 環境基準は「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値である。

【振動調査結果】

調査日時：令和3年12月20日12:00～12月21日12:00 (No. 1、3、4)
令和4年2月17日16:00～2月18日16:00 (No. 2)

時間区分	振動レベル (80%レンジの上端値：L _{V10})				道路交通振動の限度 (第一種区域) (単位：dB)
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	
昼間 (7時～19時)	25未満	36	38	32	65
夜間 (19時～7時)	25未満	26	26	25	60

注) 定量下限値は25dBである。

【水質調査結果】

項目	地点	①	②	③	④	定量 下限値	環境基準値 河川A類型	
		吉山川	天皇原川	上垣内川	中央川			
観測項目	調査日	令和3年10月25日				—	—	
	調査時刻	12:10	10:30	10:00	11:15	—	—	
	天候	曇	曇	曇	曇	—	—	
	気温	(°C)	12.3	13.6	12.1	11.8	—	—
	水温	(°C)	13.2	12.9	13.5	12.8	—	—
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	(—)	7.0	6.9	7.0	6.8	—	6.5以上8.5以下
	生物学的酸素要求量 (BOD)	(mg/L)	ND	ND	ND	0.5	0.5	2以下
	溶存酸素量 (DO)	(mg/L)	10	10	10	10	0.5	7.5以上
	浮遊物質 (SS)	(mg/L)	ND	2	ND	3	1	25以下
	大腸菌群数	(MPN/100mL)	13,000	17,000	3,300	13,000	1.8	1,000以下
	健康項目	カドミウム	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0003
全シアン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.1	検出されないこと
鉛		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001	0.01以下
六価クロム		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.005	0.05以下
砒素		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001	0.01以下
総水銀		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005以下
アルキル水銀		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005	検出されないこと
P C B		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.002	0.02以下
四塩化炭素		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0004	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.002	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.004	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005	1以下
1,1,2-トリクロロエタン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0006	0.006以下
トリクロロエチレン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0002	0.002以下
チウラム		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0006	0.006以下
シマジン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0003	0.003以下
チオベンカルブ		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.002	0.02以下
ベンゼン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001	0.01以下
セレン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		(mg/L)	0.32	0.14	0.29	0.05	0.01	10以下
ふっ素		(mg/L)	0.10	0.12	0.11	0.08	0.08	0.8以下
ほう素		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.01	1以下
1,4-ジオキサン		(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.005	0.05以下
塩化物イオン	(mg/L)	3.6	3.7	3.5	3.0	0.05	200以下 ^{※1}	
電気伝導率	(mS/m)	6.8	5.6	6.2	4.4	—	30以下 ^{※2}	
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.026	0.021	0.026	0.11	—	1以下	

注) NDは、定量下限値未満

※1 水道水質基準

※2 農業用水基準

凡例	
	：基準値以下
	：基準値を超過

浸出水処理設備動作試験〈停電時の運転確認・ポンプ異常時における管内貯留状況確認〉の立会について

令和3年度第1回協議会で説明しました動作試験について、以下のとおり行いますので立会をお願いします。

- 1 実施時期
令和4年5月下旬（予定）。
- 2 確認場所
(A) 浸出水処理施設
(B) No1マンホールポンプ
(C) 放流管のマンホール（急な曲がり箇所）
(D) 放流管のマンホール（貯留区間の最低地盤高箇所）
- 3 停電時の運転確認
No1マンホールポンプで停電を発生させ、以下の手順で停電時の運転確認を行います。

[手 順]

- ① 通常運転による埋立地から送水
- ② No1マンホールポンプ停電操作（B）
- ③ 処理施設の監視装置で停電警報、圧送ポンプ自動停止を確認（A）
- ④ 自動通報装置の発報確認（※最大16か所の登録連絡先に通報可能です）
- ⑤ 非常用発電機の自動起動及び電源切替確認（発電機から電源供給）（B）
- ⑥ ポンプ自動運転の再開確認（B）
- ⑦ 復電操作（B）
- ⑧ 非常用発電機の自動停止及び電源切替確認（商用側から電源供給）（B）
- ⑨ ポンプ自動運転の停止及び再開確認（A、B）

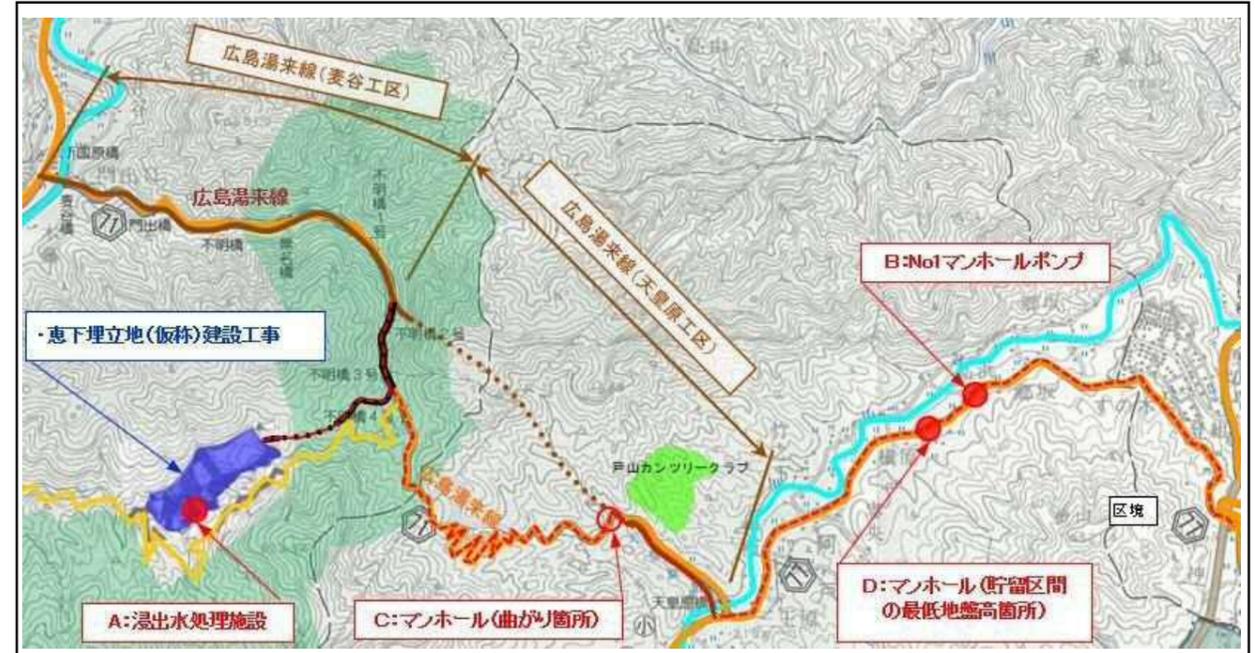
4 ポンプ異常時における管内貯留状況確認

埋立地から送水中にNo1マンホールポンプを停止し、以下の手順で管内貯留状況の確認を行います。

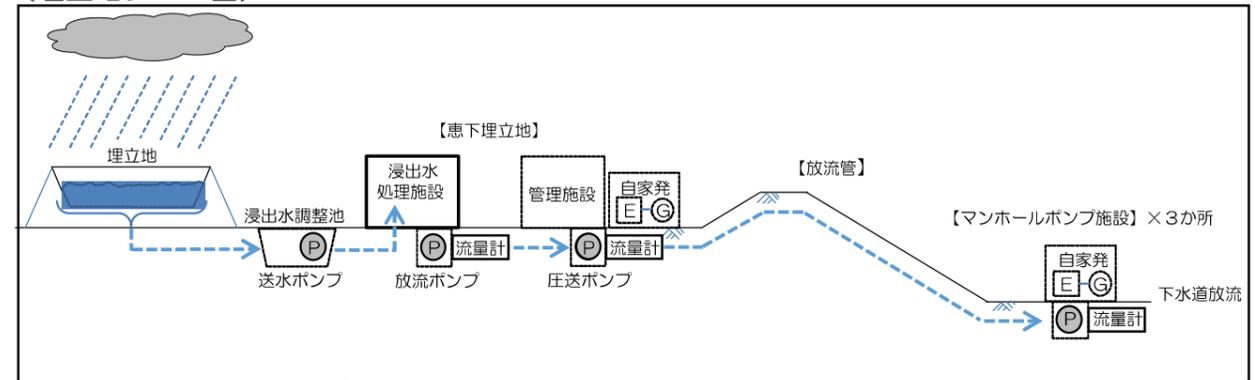
[手 順]

- ① 埋立地から送水中にNo1マンホールポンプや放流管のマンホールで、マンホール内の水位状況確認（B、C、D）
- ② No1マンホールポンプを停止（B）
- ③ ポンプ停止により、マンホールポンプ内の水位が上昇し異常高水位が発生し（B）、埋立地の圧送ポンプ自動停止（A）を確認
- ④ 埋立地からの送水がNo1マンホールポンプに全て到達するまで、マンホール内の水位の確認（B、D）
- ⑤ No1マンホールポンプの流入停止後に水位状況を確認（B、D）

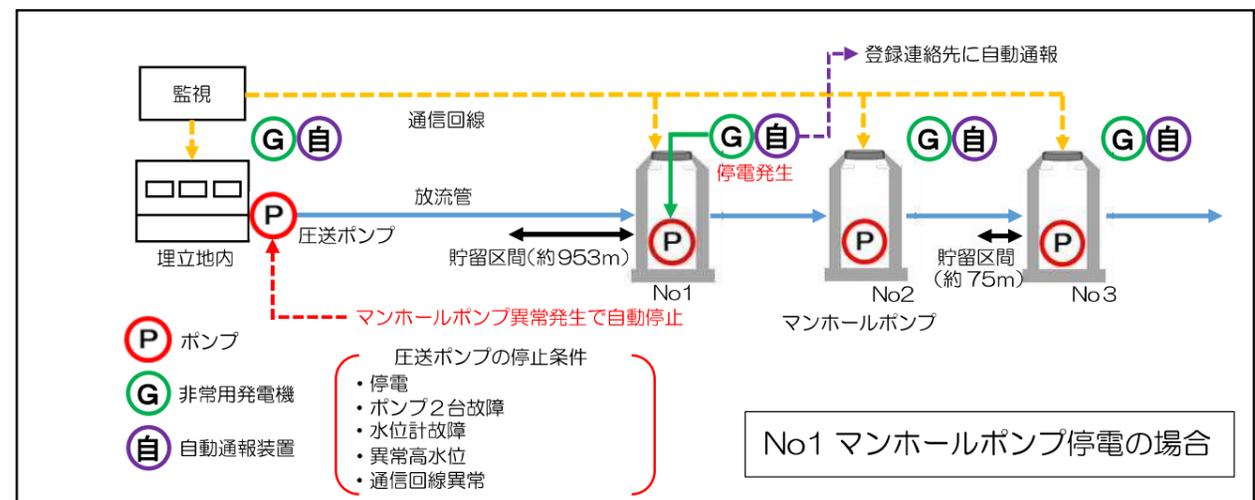
(位置図：確認場所)



(埋立地フロー図)



(放流管フロー図)



■ 浸出水処理設備動作試験の立会について
〔浸出水放流管排水フロー（イメージ）〕

